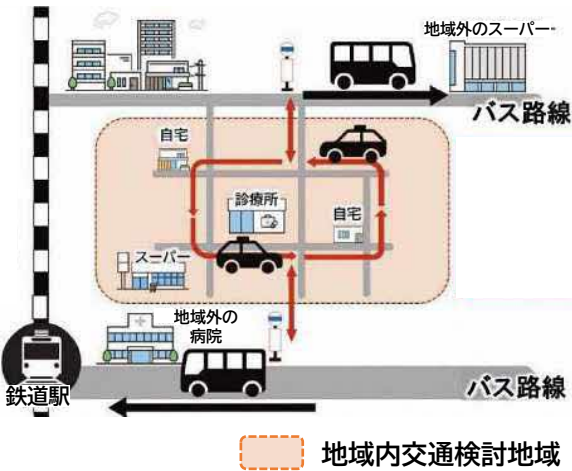


1. 地域内交通の導入に向けた検討を開始

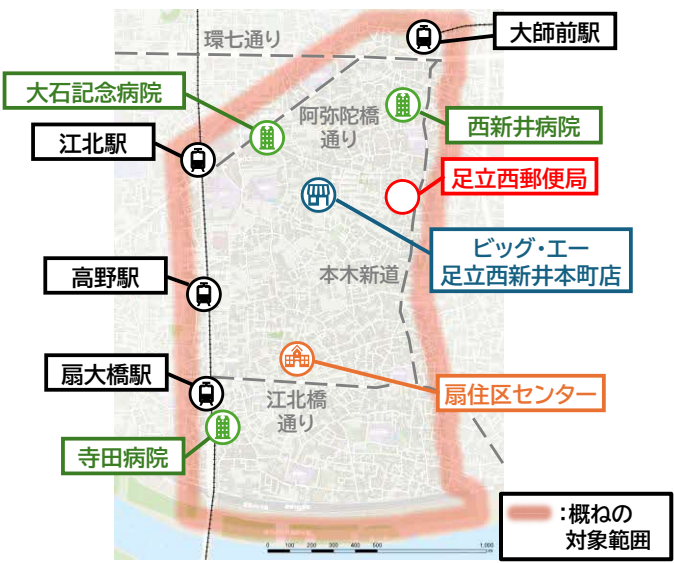
扇周辺地区では、令和6年3月をもってはるかぜ10号が廃止となりました。これを受け交通課題解消に向けた検討を開始しました。今後は、地域ニーズや移動実態を把握しながら、地域内交通導入サポート制度の活用の検討を進めます。

地域内交通とは

- ・鉄道やバスがカバーできない地域内の移動を補完
- ・駅やバス停といった既存公共交通へアクセス



検討対象範囲



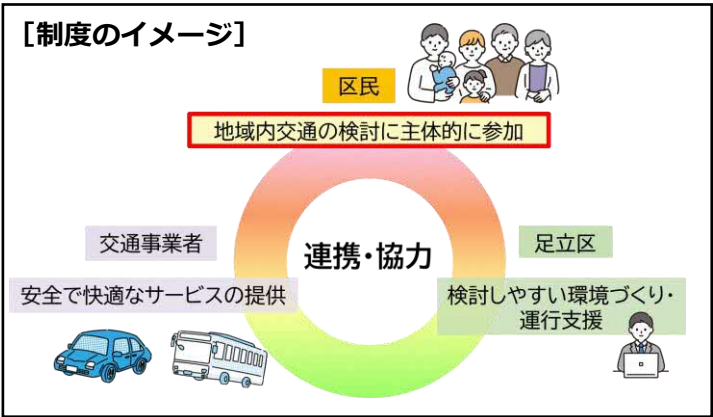
地域内交通導入サポート制度とは

持続可能な移動手段を確保するため区と地域、交通事業者等が連携しながら、新たな地域内交通を導入する制度です。

制度の詳細内容は右のQRコードから確認できます。



【制度のイメージ】



【これまでの経緯】

	日付	会議名	主な検討内容
令和6年度	令和6年12月 ～令和7年2月	意見交換会 (計2回実施)	・新たな移動手段に関する意見交換
令和7年度	令和7年6月～7月	準備会	・足立区地域内交通導入サポート制度について ・検討の流れ、協議会設立について ・交通に関する現状把握 (勉強会からはアンケート調査内容の検討)
	令和7年 10月～12月	勉強会 (計5回実施)	
	令和7年 11月17日～12月12日 アンケート調査(移動実態、地域内交通への意向を調査)		
	令和8年1月26日	第1回協議会	・アンケート調査の結果報告 ・交通手段の検討、意見交換

2. アンケート調査結果

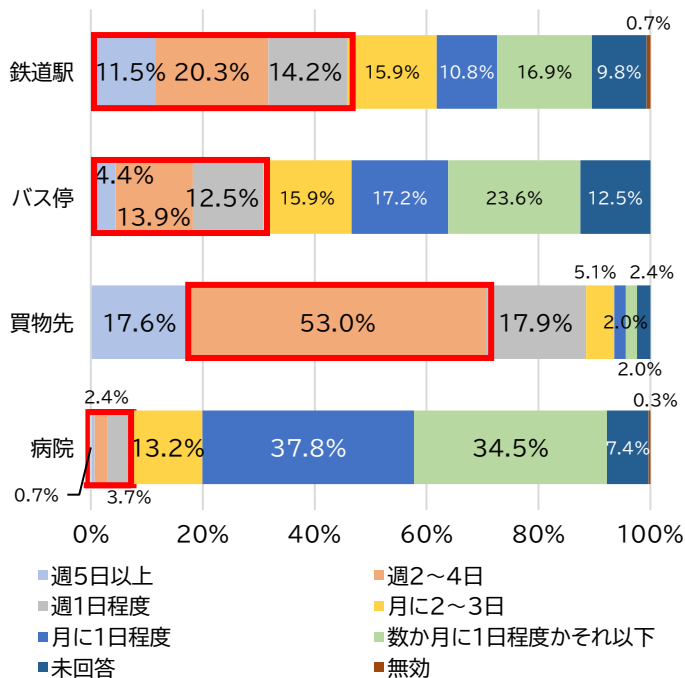
◆ 地域が主体となり新たな移動手段を導入することに対する意見（回答者数296名）

回答内容	回答割合
自身で利用するので導入してほしい	28.4%
いずれ利用する可能性があるので、導入してほしい	40.9%
家族や知人が利用しそうなので、導入してほしい	12.5%
特に導入の必要はないと思う	6.4%
その他（無効含む）	11.9%

結果概要

⇒家族や知人の利用及び、自身の今後の利用も含めて、**新たな交通手段の導入を望む声**が大多数

◆ 各目的地に行く頻度はどのくらいか（回答者数296名）



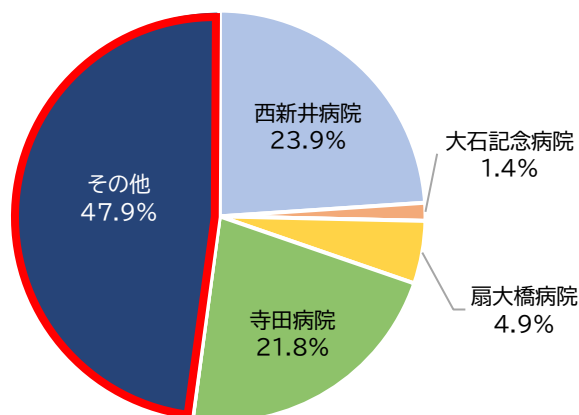
結果概要

⇒鉄道駅・バス停の利用頻度は週1日以上が3〜4割でやや高い
⇒買物先へは週2〜4日以上が半数以上出向いている
⇒週1日以上通院する人は1割未満

結果から考えられる運行計画

○毎日の運行ではなく、適切な運行日を設定する

◆ 最も利用する病院・診療所（回答者数296名）



結果概要

⇒その他が多く、総合病院以外のクリニックや診療所が多い

結果から考えられる運行計画

○利用する医療機関は点在しているため、きめ細かく乗降場所を設定できる移動手段が必要

アンケート結果の詳細はこちら

